

本工法は、剪定、伐採工事等から発生する植物体を、緑のリサイクル専用開発された粉碎機「JMERY」によって、各現場で均一なチップに加工し、チップ材を、有用な自然素材として、マルチング材や堆肥化したのちに土壌改良材として活用する事で、緑資源の地域循環とリサイクル推進を実践している。施工例は、緑地管理における緑のリサイクル事業、各種工事における植物性発生材のリサイクル推進工事等で幅広いニーズに応える。



枝葉木根粉碎工法は

自然界における表土の形成（図-1）に見られるように、植物体を表土形成における循環資源として捉え、豊かな土づくりと有効活用をテーマに開発された工法で、（図-2）のとおり、植物体をチップ化し、再び発生現場内に活用することで緑資源の地域循環と土づくりを実践しています。

施工機械とチップ材の品質

チップ化に使用する、枝葉木根粉碎機（JMERY）の基本構造は、粉碎部と動力部で構成されます。粉碎部の粉碎方式は、様々な形状の植物体を瞬時に均一なチップに加工する事が可能な「3層ドラム方式」を全機種に採用しています。これにより、チップ材は、枝葉等の原形が残らない、[0～25mmの連続粒子]の品質を確保しています。JMERYシリーズはより効率的な現場内チップ化技術をめざして、様々な現場条件とニーズに対応した各機種をタイプ別にラインナップしています。

図-1 自然界の土づくり

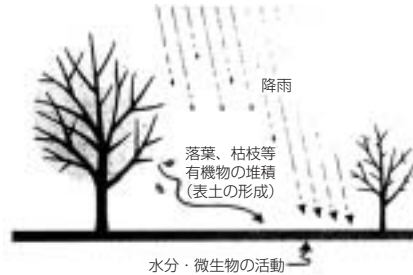
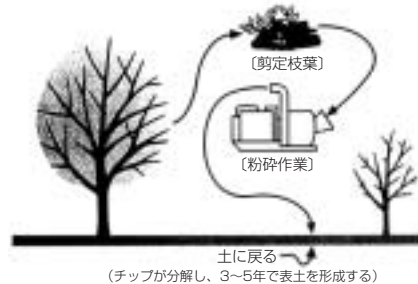


図-2 枝葉木根粉碎工法による土づくり



JMERY：公園緑地型200ps
最大処理直径30cm



JMERY：クローラ自走式300ps
最大処理直径50cm